

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート南流山 (2階)		
所在地	千葉県流山市大字木312		
自己評価作成日	平成28年1月23日	評価結果市町村受理日	平成28年6月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成28年3月17日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

平成26年4月に開設し、少人数であるがゆえ、きめ細やかさとお客様との距離感が近いである事がアピールできる材料かと思えます。平成27年12月には2ユニット目が開設の運びとなりました。前年から引き続きのテーマとなりますが、徐々に質の向上に向け取り組んでいきたいと思えます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

「わ」を紡ぎ繋げますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切にした支援の実践に向け、職員間で共有し取り組んでいる。今年度は2ユニット目の開設もあり、新規利用者も増加している。新規利用者の受け入れにあたり、職員の介護の質の向上を目指し、ホーム内研修を定例化し、知識や技術を高めている。現場のリーダーの着任もあり、組織力の強化も図られた。日々の支援においても外出行事として、都内の観光名所への外出なども取り入れ、活動性が高まるように努めている。今後に向けては、地域との交流の充実やホーム内での楽しみを増やしていく事を課題とし、前向きに取り組んでいく姿勢が確認できた。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「わ」を紡ぎ繋がります。という理念を策定し、お客様とご家族、地域の方、そしてスタッフ間が連携出来るよう共有しています。	会社の社是、心得、経営理念を掲示し毎朝の申し送りや唱和しているほか、「わ」を紡ぎ繋がりますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切にしたい支援の実践に向け、職員間で共有し取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	積極的な取り組みは今後になりますが、民生委員の方の見学や介護相談等、交流を持っています。	地域との交流は、今後の課題としており、地域行事への参加や子ども達との交流を今後計画している。ホームで実施する避難訓練の際には近隣の住民の方にも声をかけ、混乱等が生じない様に努めている。	少しずつ形成されている地域コミュニティを活用しながら、子ども達との交流や気軽にホームに足を運べるような活動等も取り入れ、地域との交流が充実していく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談といった部分でのお問い合わせを頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域包括支援センター、民生委員の参加を頂き、助言を頂いています。	会議には市役所介護保険課、地域包括支援センター、民生委員、家族代表の方の参加を受け2ヶ月に一度定期的実施している。会議ではホームの活動状況をDVDを使用しての報告や参加者と意見交換を行い、サービス向上につなげていけるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の報告が主になりますが、助言を頂いたりして、関係構築に取り組んでいます。	市の担当課職員の方は運営推進会議に参加しており、定期的にホームの運営状況を報告することができている。また避難訓練の際にも立会いがある等、担当課とは定期的に連携を図ることができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	採用時の研修で説明しています。また、当事業所においては実施例はありません。	ホーム内において「高齢者虐待防止研修」を実施し、身体拘束廃止についても触れ、身体拘束をしないケアの実践を行っている。現状、玄関の施錠も含め、身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	採用時の研修で説明しています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	次年度の研修計画で権利擁護など行っていきたくと考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学の対応時、初回の面談時、契約時にご説明や不安な点等尋ね、理解、納得を図っています。また、入居後も相談があった場合には丁寧にご説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からは運営推進会議の際や、来訪時等に、お客様からは日々の生活の中で意見や要望をお聞きし、内容を精査した上で出来るところから実施しています。	家族からの意見や要望は面会時や電話連絡時に個別で確認している。また、お客様アンケートを年に一度実施し、運営に関する意見等を確認している。利用者からの意見等については日常会話を通して確認している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務中や申し送り等で提案や不安な点の相談を聴取し、業務改善に生かしています。	管理者は3ヶ月に一度の割合で職員と個別面談を実施し、意見や要望等を個別に確認している。また支援や業務の見直しについては拠点会議の中で確認を行い、職員の提案等を日々の支援に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤希望者には労働条件の変更をしております。非常勤スタッフは出来る限り出勤日数を希望通りにして、個々の条件にそぐえるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一同に集まる研修は年に数回しかありませんが、技術的なものはプリントで配布し、知識の入れ知恵をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に出席し、様々な助言を頂いています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な限り、面会に来て頂くように要望しており、本人だけではなくご家族様にも協力を頂き、本にとってより良い対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る能力は発揮して頂くように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会も多いので、意見を反映しながら今後も信頼関係を築けるようにしていきたいと思えます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出、外泊は原則自由です。入居前からのかかりつけの病院や理髪店に行く方もいます。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れない様に、通い慣れた床屋の利用やこれまでのかかりつけ医の継続、ホームの電話で家族と会話ができるようにする等、個別の要望に応じて柔軟な対応を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケやレク、散歩などで孤立せず過ごせるよう職員も介入しながら対応しています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現状は出来ていません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者を中心に担当者会議やケース検討会議で把握するように努めています。また日々の暮らしの中でこんな事があった等申し送り等を通じ、情報の共有に努めている。	日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、また家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、家族に相談の上、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者を中心に担当者会議やケース検討会議で把握するように努めている。また日々の暮らしの中でこんな事があった等申し送り等を通じ、情報の共有に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	計画作成担当者を中心に担当者会議やケース検討会議で把握するように努めている。また日々の暮らしの中でこんな事があった等申し送り等を通じ、情報の共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネが中心となりスタッフやご家族様、医療関係者の意見を反映しながら作成しています。	アセスメントにおいて利用者の現状及び課題を抽出し、アセスメントで得た情報を基に担当者会議において利用者、職員から意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを立案している。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認している。	ケアプラン作成にあたっては、主治医等の意見も確認し、多職種連携で作成できると良いであろう。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録に落としています。その記録を基に、事務方を含め情報共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今の所、既存サービスでの支援となっています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や買い物で地域へ足を運んでいます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。協力病院の看護師が月に8回程度来訪し、相談にのって頂いています。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診断を受ける事ができている。担当医とは24時間連絡が取れる体制であり、緊急時にも迅速に対応が図れている。また希望する方はこれまでのかかりつけ医を継続する事も可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。協力病院の看護師が月に8回程度来訪し、相談にのって頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	希望者に関して定期往診があります。往診が無い日で状況の変化が表れた場合等、報告・相談を密にし、対応に関して協議し状態の悪化防止に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在終末期の方がいないため、看取り取り組みはしていません。今後、状況、状態により重度化、終末期への変化があった場合、ケアの対応について関係各位を交えて話し合う場を設けベストな対応を行いたいと考えています。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有している。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフの研修で緊急時の対応を実施します。今後も実践力を身に付けられるように工夫します。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月中旬に所轄の消防と避難訓練を実施します。	市役所の担当課、地域包括支援センター、消防署の立会いの下、夜間の災害を想定した避難訓練を実施している。避難にあたっての反省点等も職員間で振り返り、全職員が安全に避難できる方法を習得できるように努めている。	災害時における地域との連携強化や災害時に備え、家族に対して利用者の安否をどのように伝えていくか連絡方法についてより明確になる事が望まれる。

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナーは都度啓蒙し、お客様にとって不快に思われないように努めています。	利用者の接遇・マナーに関しては日頃から注意を払い、申し送りや拠点会議で振り返り、適切な対応が図れるように努めている。居室への入室についても、ノックをする事や一声かける事を基本とし、プライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のペースや日々の状態の変化に合わせ希望を叶えるよう創意工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの導線上、食事時間と入浴時間は定めているが、その他の時間に関しては、自由に楽しんで頂いたり、お客様ご自身のペースや希望に合わせたゆとりを持たせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝整容介助をしています。また、定期的に訪問整容を入れています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に調理をする方はいませんが、希望を取りつつ献立の作成をしています。	食事のメニューには利用者の食べたい物を反映したり、イベントの際には行事食を提供する等、食事を楽しむ事ができるように工夫している。ホーム内でのケーキ作りなども取り入れ、利用者も関わることができるように努めている。	利用者の取り組めることを活かし、食事の準備や後片付けに、利用者も主体的に関われるような取り組みに期待したい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食生活や禁食を考慮しつつ支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は毎食後実施しています。また、訪問歯科の無料検診を行い、ケアが必要な方には定期的に訪問歯科を入れています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄を促しています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	人によりサプリや下剤を飲んでいますが、食事や水分、体操等で予防に努めています。現在は便秘の方はいません。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	導線上、入浴時間の設定はしていますが、毎日入浴できる環境は整えています。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週3回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につくほか、自立の方にも見守りを行い、入浴中に事故が起きない様に安全面には十分に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠パターンを把握し、快適に休んで頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、薬剤師も同行し、お客様へ説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や夜の外出ツアーと題し、外出支援を行いました。また、歌等ご希望に沿った形で楽しんでいただけるよう今後も工夫をしたいと思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	同上。ご家族様もファミレスに連れて行って頂いたり協力的です。	天候のよい日には、ホーム周辺の散歩にお連れするほか、外出行事として水族館への外出や夜間外出として都内の観光名所に出かける等の取り組みを行い戸外に出かけられるように支援している。	ホーム周辺の散歩や外出行事なども取りれているが、今後に向けては、日常的な外出機会も増やし、利用者の活動性がより高まっていく事に期待したい。



グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	社の規定により原則事務で一括管理をしています。買物時は同行する職員に預け、買物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書く機会はないが、本人や家族のご希望で電話をしたり取り次いだりする事は行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	和室、掘りごたつ等快適なハード面になっています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でひとりになれるスペースはありませんが、お客様同士思い思いに過ごせるよう配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則、火災につながるものの持込は禁止しているが、その他の持込品については危険が無ければ原則自由であり、馴染みの物をご持参頂いています。ご本人様の要望に応じ、入居後も必要な品物を購入することも可能です。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのもをの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内は、バリアフリーの設計。お客様の安全を確保しながら、自立した生活が送れるようになっています。		